

令和八年度 一般入学試験問題（後期）

兵庫県立農業大学校

『国語』

受験番号

名前

一 次の傍線部の漢字の読みを、ひらがなで書きなさい。(各1点、合計10点)

- ① 伝統を大切にする気持ちを培う ( )
- ② 彼は急に指名されて戸惑った ( )
- ③ 花びらが幾重にも重なる ( )
- ④ 茶柱が立つとは縁起がいい ( )
- ⑤ 自然の森の再生を妨げる ( )
- ⑥ 河川を改修する ( )
- ⑦ 両親の酪農の仕事を手伝う ( )
- ⑧ 父から出張の土産をもらう ( )
- ⑨ 外気を遮断して空気を暖める ( )
- ⑩ 企画の趣旨を参加者に説明する ( )

二 次の傍線部のカタカナを、正しい漢字で書きなさい。(各2点、合計20点)

- ① 連休中の高速道路は長いジュウタイだ ( )
- ② 質問に否定もコウテイもしない ( )
- ③ 集中力をイジすることが必要だ ( )
- ④ 相手の意見をヒハンせずに議論しよう ( )
- ⑤ 機械ソウコを清掃する ( )
- ⑥ 判断を担当者にユダねる ( )
- ⑦ 優秀なレポートを文集にケイサイする ( )
- ⑧ 損益ブンキ点を計算する ( )
- ⑨ 子供のスコやかな成長を願う ( )
- ⑩ よくウれた果実を収穫する ( )

三 次の語句の対義語を下のア～エから選び、記号で書きなさい。

- |      |   |    |   |    |   |    |   |    |     |
|------|---|----|---|----|---|----|---|----|-----|
| ① 絶対 | ア | 一般 | イ | 反対 | ウ | 相対 | エ | 必然 | ( ) |
| ② 義務 | ア | 自主 | イ | 権利 | ウ | 善意 | エ | 許可 | ( ) |
| ③ 特殊 | ア | 基礎 | イ | 常識 | ウ | 一般 | エ | 原則 | ( ) |
| ④ 節約 | ア | 儉約 | イ | 浪費 | ウ | 費用 | エ | 貯金 | ( ) |
| ⑤ 生産 | ア | 収入 | イ | 流通 | ウ | 供給 | エ | 消費 | ( ) |
- (各2点、合計10点)

四 次の四字熟語で、( )の中に入る適切なことばを、漢字で書きなさい。

(各2点、合計10点)

- ① 悪戦 ( ) 鬪
- ② 自給自 ( )
- ③ 温故知 ( )
- ④ 我 ( ) 引水
- ⑤ 晴耕 ( ) 読

## 五 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

廃校が決まった中学校の三年生のぼく（長谷川優太）は、膝の故障でサッカーをあきらめ、モー太郎（山田幸次郎）とともに、姫と呼ばれている岡本暁人しか部員のいない水泳部に入部する。姫は県の記録保持者だが、突然水泳部をやめると言い出し、顧問のウガジン（宇賀神先生）は怒って部の解散を命じる。その後、水泳部へ戻りたいと申し出た姫に、ウガジンは復帰の条件として、三人でのトライアスロン大会参加を提示する。

①「じゃあ、今日のところは帰りますね。失礼しました。」姫が職員室の出口へ向かった。ぼくとモー太郎も続く。ところが、ウガジンがトライアスロン大会の申込書をひらひらさせながら追いかけてきた。「ちょっと待て、おまえら。これをよく見てみる。この第一回桜浜ジュニアトライアスロン大会はな、たくさんの参加者を募るためにいろんなローカル・ルールがもうけられているんだよ」「ローカル・ルール？」なんのことだかわからずに、ぼくは聞き返した。「簡単に言えば、この桜浜の大会だけの特別ルールだ。今大会にはそのローカル・ルールのひとつとしてリレー部門があるんだよ。スイム、バイク、ランに一人ずつ出て、リレーをするんだ。つまり、三人ひと組のチームとして、参加できるんだよ」「なるほど、それならばおれがスイム担当で出りゃいいってわけですね」姫がさっそく飛びついた。「さすが岡本。話のみ込みが早い」ウガジンは拍手で姫を褒めたたえる。姫はモー太郎の肩をたたいた。「おまえはいつも自転車で牛乳配達をしているからバイク担当でいいよな」「もちろん。自転車なら自信があるよ。毎朝三時間は自転車に乗っているからね」「三時間か。すげえな。オーケー。それじゃ、ラン担当は優太ということだ」「ちょっと待てよ」話がどこまでも勝手に②転がっていきそうなので、ストップをかけた。「なんだよ優太」「勝手に決めるなよ。トライアスロンに出場するなんて、ひと言も言っていないだろ」そもそもぼくは一人三競技だろうが、一競技だろうが、③最初から出るつもりはなかった。「いいじゃんか。おれを助けると思って出てくれよ」なれなれしい口調で語りかけてくる姫を無視して、ウガジンに詰め寄った。「先生はぼくの膝が悪いことを忘れたんですか。ちょっと走るくらいならいいですけど、優勝なんて絶対無理ですよ。もし優勝したいんだったら、ぼくをメンバーからはずしてください」

②「おい、優太」いきなり姫に腕をつかまれて、職員室の外まで連れていかれた。「痛いな。なんだよ」姫の手を振りほどく。「落ち着けよ。冷静になれって。いいか？ おれの水泳部復帰のために優太を巻き込んだのは悪いと思っっているよ。でもな、ウガジンはおれの復帰の条件として、トライアスロン大会への参加を言ってきただけなんだよ」「うん？」「つまりな、優勝しなきゃだめとは言っていないだろ」④そう言われればそうだ。「おれたちはトライアスロン大会に参加すればそれでいいんだよ。優太はただら走ってくれるだけでいいのさ。そもそもさ、トライアスロン大会は全中のあとなんだぜ。全中に出入れさえすれば、そのあとのトライアスロン大会でビリを取ろうが、途中で棄権しようが、関係ないってことだよ。学校がなくなるんだか知らないけど、卒業しちゃうおれたちには関係ないよ。おれたちはただ出ればいい。わかったか」姫の言っていることはわかった。でも、迷った。たとえランパートだけにしても、膝の悪いぼくがトライアスロン大会に出るわけにはいかない。クラスのやつや、サッカー部のやつらに、出場することを知られた

ら都合が悪い。なんだよ走れるんじゃないか、なんて後ろ指さされることになる。ぼくの膝は壊れたことになっているのだ。「やっぱり無理だよ。膝が悪いから」〈A〉すると、姫の顔から表情がさっと消えた。視線はぼくの目に固定されたまま一ミリも動かない。そして、その瞳がぞくぞくとするほど冷たいのだ。一瞬にして<sup>⑤</sup>鳥肌が立った。(中略)

**③**「お前さ、もう<sup>⑥</sup>猿芝居はやめろよ」冷たくて乾いた声だった。「なにが芝居なんだよ」「膝が悪いなんてうそをつくのはやめろ」一瞬、息が止まった。「うそじゃないよ」「本当は痛くなんかないんだろ」「痛いけど我慢しているんだよ。痛くないふりをしようって努力してるんだ」〈B〉「ちがうだろ。痛いふりをする努力をしているんだろ」「そんなことないよ」「言い訳はしないでいいぜ。前から思っていたんだけどさ、うそをついているのミエミエだぜ」「いいかげんなことを言うな」「いいかげんなのは優太だろ。膝が痛い、痛いって言うわりにはよ、帰りのホームルームが終わったら瞬間にダッシュで帰ってるじゃん。おかしいだろ。とかさ、きつとクラスのやつらもおかしいって気づいてるぜ。気づいていないのは優太自身だけじゃないのか」〈C〉「なあ、優太。おまえ、なんか逃げたいことがあるんだろ。そのために膝が痛いって言い訳を用意してあるんだろ。ちがうか」「そんなんじゃないよ。本当に痛いんだ」「去年からおまえには水泳部に来てもらってるわけだけだよ、おまえのタイムどんどんよくなってたぞ。どっか故障してるとは思えないくらいにさ」「適当に話を作るなよ」「おれタイム計ってたもん。それに、水泳を長くやっていれば、泳ぎ方を見ただけでも故障を抱えてるかどうかわかるもんさ」<sup>⑦</sup>思わずあとずさりした。姫はいままでぼくの膝のうそを見抜いておきながら、ずっと黙っていたというのか。「ぼくは本当に膝が痛いんだ。マジで走るのは無理なんだ」「なんでもかんでもすぐに無理だ、無理だって言いやがって」姫がにじり寄ってくる。

**④**「どうしたおまえら。いつまでも廊下で」がらりと職員室のドアが開いて、ウガジンが出てきた。助かった。ウガジンに泣きつく。「先生。やっぱりランパートは無理です。トライアスロンには出られません」「でもなあ……」「なんなら、ぼくが必ずかわりのランパートを探します。それじゃだめですか」姫の視線を頬に感じつつ懇願した。ウガジンがしぶしぶ答える。「優太がちゃんと責任もって探すというんだな」「はい」「それならいい」「ありがとうごさいます」(中略)やっと安堵の息をつく。横を見ると、姫が冷ややかな目でぼくを見ていた。「うそつき」とその目は語っていた。(関口尚「空をつかむまで」)

※トライアスロンは一人の選手が水泳・自転車・マラソンの三種目を一日で行い、総計の時間を競うレース。

※全中はここでは、全国中学校水泳競技大会のこと

問1 —線部①「ウガジンが……追いかけてきた」とあるが、それはどのようなことを伝えるためのか。五十字以内で書きなさい。(7点)



ア 血の気がさっと引くのが自分でもわかった。  
イ ぼくは左膝をさすった。  
ウ 苦笑いで断った。

問6 —線部⑤「鳥肌が立った」とあるが、「ここではどのような気持ちを表しているか。最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。」(2点)  
( ) ( )

- ア 失望
- イ 興奮
- ウ 恐怖
- エ 後悔

問7 —線部⑥「猿芝居」とあるが、姫は優太に対し、どのようなことを猿芝居と言っているか。十五字以内で書きなさい。(3点)


問8 —線部⑦「思わずあとずさりした」とあるが、「このときの」ぼく「の心情として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。」(5点)  
( ) ( )

ア まだ膝も治っていないのに姫に出場を強要されてとまどっている。  
イ 姫に膝が治っているとという証拠を突き付けられてたじろいんでいる。  
ウ 知らないうちに姫がタイムを計っていたことを不快に思っている。  
エ 姫が自分のうそをみんなに言いふらすのではないかと恐れている。

問9 本文に描かれている姫の人物像の説明として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。(4点)  
( ) ( )

ア 人を見下したような態度をとってはいるが、友達思いで気だての優しい人物。  
イ 親友のぼくやモー次郎にさえも気を許さず、自分の意思を貫こうとする人物。  
ウ 自分の感情や本心を決して表に出さず、周囲に不可解な印象を抱かせる人物。  
エ 軽い調子でふるまう一方で、ぼくの偽りや後ろめたさを鋭く見抜いている人物。

問10. [4]段落における「ぼく」の心情の説明として最も適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。(5点)

ア 先生が声をかけてくれたおかげで姫の追及から逃れることができたが、膝のことを見透かされているという不安をぬぐえないでいる。

イ 姫に問い詰められて不利な立場に追い込まれたが、廊下に出てきた先生が二人の間に入ってくれたので冷静さを取り戻している。

ウ 情けない人間だと姫に軽べつされているという思いから抜け切れず、これからも今までどおり親友でいられるか気になっている。

エ 自分の代役を探しさえすれば大会に出場しなくてもよいという見通しが立ち、これで姫から解放されると救われた思いになっている。

令和8年度一般入学試験（後期）試験問題

「数学 I + A」

受験番号	
名 前	

兵庫県立農業大学校

1. 次の式を計算しなさい (各 3 点)

(1)  $2 \times (-4) + 5$

(2)  $(-3)^3 \times \left(-\frac{2}{9}\right)$

(3)  $\left(\frac{5}{6}\right) + \left(\frac{5}{3}\right)^3 \div \left(\frac{5}{6}\right)^2$

(4)  $-\frac{9}{14} \div \left(\frac{1}{7} - 0.4\right)$

2. 次の式を因数分解せよ (各 3 点)

(1)  $4y^2 - 25$

(2)  $2x^2 - 8x + 6$

(3)  $2x^3 + 3x^2 - 2x - 3$

(4)  $4x^2 - (y - 3)^2$

3. 次の方程式を解け (各 5 点)

(1) 
$$\begin{cases} 2x - 3y = 7 \\ 3x + 2y = 4 \end{cases}$$

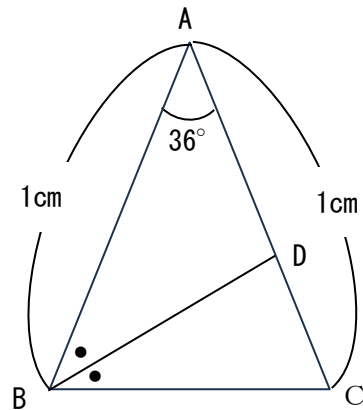
(2) 
$$\begin{cases} 5x - 2y = 1 \\ 3x + 4y = 25 \end{cases}$$

4. 1 から 6 までの番号が書かれた 6 つの箱と球がある。球は袋に入っており、袋の中から無作為に取り出して箱に 1 つずつ入れていく。以下の場合の確率を答えよ。(各 5 点)

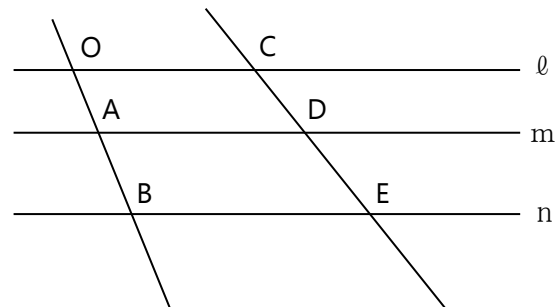
(1) 1 番の球が 1 番の箱に入る確率

(2) 偶数番号の球がすべて偶数番号の箱に入る確率

5.  $\angle BAC=36^\circ$  の二等辺三角形 ABC がある。 $\angle ABC$  の二等分線と AC の交点を D とするとき、BD の長さを求めよ。(8 点)



6. 下図において、直線  $l \parallel m$ 、 $m \parallel n$  で、 $OB=6\text{cm}$ 、 $DE=4\text{cm}$ 、 $CD=3\text{cm}$  である。このときの OA の長さを求めよ。(8 点)



7. 次の問いに答えよ。また、式も解答用紙に書きなさい。(各 10 点)

- (1) ある本を 1 日目に全ページ数の  $\frac{1}{2}$  を読み、2 日目に残ったページ数の  $\frac{2}{5}$  読んだが、まだ 33 ページ残っている。この本の全ページ数を求めよ。
- (2) 3 個のサイコロを同時に投げるとき、出る目の積が偶数とならない確率を求めよ。ただし、サイコロは 1 から 6 までのどの目が出ることも同様に確かなものとする。
- (3) 男子 4 人と女子 3 人から 3 人の代表を選ぶとき、男子と女子がそれぞれ少なくとも 1 人は選ばれる場合は何通りあるか求めよ。
- (4) 粉ミルクは「粉 : 水 = 1g : 9ml」で溶かすと飲用ミルクになる。450ml の飲用ミルクを作りたい場合、粉ミルクと水をそれぞれどのぐらい用意すれば良いか求めよ。

令和8年度 一般入学試験（後期）試験 「数学 I + A」 計算用紙

受験番号	
名 前	

--